

環境都市常任委員会

(令和 7 年 1 月 1 6 日)

環境都市常任委員会

午前 11 時 24 分 開会

○大野祐司委員長 ただいまから、環境都市常任委員会を開会します。

本日の会議は、タブレット端末に掲載した日程により進めてまいります。

それでは、2、協議事項、(1)、人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化についてを議題といたします。

まず、スケジュールと提言書の構成につきまして、議会局より説明をお願いします。

議会局書記。

○議会局書記 それでは、御説明させていただきます。まず、資料の政策提言スケジュールを御確認いただければと思います。お手元のタブレット端末、又はこちらのモニターを御覧ください。本日、1月16日に可能な限り政策提言の具体的な提言内容を御協議いただき、ある程度の確定をお願いしたいと思っております。今後のスケジュールでございますが、来月の2月14日には提言書の案を提示し、3月定例会議中の環境都市常任委員会の開催を予定しております、3月11日には委員会として提言書を確定させ、議会全員協議会に向けての最終調整を4月16日に行い、5月16日が議会全員協議会の本番となり、ここで最終的な提言書の確定を予定しております。また、作成する資料につきましては、20ページから30ページ程度の提言書の本体と、議会全員協議会や市長への手交式で説明するための概要版の作成を考えております。こちらの概要版は、市民の方も見ることができるよう、提言書とともにホームページでの掲載を考えております。

次に、資料の2ページ目の政策提言書の構成を御覧ください。まず、今回のテーマを選定した理由を記載し、次に、常任委員会の開催日や視察日程などを時系列で記載したいと思っております。3つ目の項目として、これまで皆様に最も時間をかけて協議していただきました、現状や課題に対する分析、また、総合計画での位置づけを記載し、検討の経過として、所管事務調査や意見交換会を記載したあとに、本日御協議いただきます、提言内容を①政策、②施策、③具体的な事業という形で記載したいと思っております。最後に、執行部へ今後期待することなどを記載してまとめたいと思っております。

説明は、以上です。

○大野祐司委員長 議会局より説明がありましたが、スケジュール及び構成につきましては、資料のとおりでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 そのように進めます。

スケジュールを考えますと、2月14日には素案ができている必要があると思いますが、提言書の構成が6項目ございますので、各委員で割り振って素案を作成するか。それとも正・副委員長で素案を作成しますか。

皆様いかがいたしましょうか。

〔「正・副一任で」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 それでは、正・副委員長で素案を作成することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 そのようにさせていただきます。

次に、提言内容につきまして、議会局より説明をお願いします。

議会局書記。

○議会局書記 資料の３ページ目の提言と上部に記載しております資料を御覧ください。

これまで環境都市常任委員会の中で皆様に御協議いただいた内容、及び意見交換会で参加者の皆様に出していただきました意見などを、全てピックアップした上で、正・副委員長と相談し、こちらに記載しております。協議をしていく中で、事業ベースの内容が数多く出ておりましたので、こちらの資料は、事業を記載しているのではなく、先ほど提言書の構成の中で御説明させていただいた、政策と施策を記載しているものになります。こちらの政策と施策に事業がぶら下がっているイメージとなります。

本日は、こちらの政策と施策について御協議いただきたいと思います。それでは、上から順にいきます。まず、政策が①人材の確保・育成及び柔軟な労働環境づくりで、施策として、ＩＣＴを活用した働き方改革、市内産業の魅力発信、技術・新たな発想を持つ人材の確保・育成です。②ＩｏＴやＤＸによる生産性向上や時代に合わせた取組で、新技術の導入による生産性の向上、ＤＸと農業の取組、脱炭素化への促進、産官民の連携強化です。③市内企業・地場産業の安定的な経営基盤の確立で、農商工連携、はだのブランドの確立、関係機関との連携強化です。④働きたい・住みたいと思うまちの魅力向上で、市内イベントを活用したＰＲ、ＯＭＯＴＡＮコインの活用（地域の担い手）、ＭａａＳの実装による切れ目ない観光体験です。

以上が正・副委員長と協議した上での提言内容となります。こちらの提言内容につきまして、別の視点での案や何項目の提言を行うのかなど、御協議いただければと思います。

以上です。

○大野祐司委員長 議会局より説明がありましたが、皆様のお考えはいかがでしょう。伊藤委員。

○伊藤大輔委員 この資料の提言については、まず数が多いというのが私の率直な思いです。提言は、執行部が考えていなかったようなことを１つでも出すことに意味があると思っていて、そうすると抽象的なものをいくつか提言することは、私の考えとは違うなというのが意見です。以前から言っている電子地域通貨のポイントを活用した地域の担い手などの取組をやったらいいいと思っています。私は、執行部がやっているようなこ

とに乗るみたいなのは、違うと思っています。

○大野祐司委員長 吉村委員。

○吉村慶一委員 議会が政策提言したことを実施する、生かすという権限は執行部にあるものだと思っているので、伊藤委員のいうドンピシャなものを提言するというのは、執行部のほうで優先順位が低かったり、やっても意味がないと思われるものだと言っても意味がないので、数打てば当たるではないけれども、いくつか出してそのうち1つは生かしましたよとか、3つ生かしましたよという形にしたほうが私はいいと思います。どういう形で執行部が受け取っているのか分からない部分はあるけど、私が聞いた話では、執行部も議会の提言した内容を気にしているけど、戻すところがないという状況だと。なので、資料にあるように複数の提言を出したほうがいいと思う。その数については、先ほど正・副委員長で素案を作成していただけたという話になりましたので、一任すればいいと思います。

○大野祐司委員長 風間委員。

○風間正子委員 私もこの政策提言については、取扱いをどうしたらいいのかなと悩んでいるところなのですが、やはり吉村委員がおっしゃるとおり、提言を実現するかどうかは執行部の判断になると思いますので、しっかり執行部と調整して、一方的な形になってはいけないなと思います。その中で、複数出してあげるほうがいいのかなという思いです。

○大野祐司委員長 田中委員。

○田中めぐみ委員 私も提言については、複数出したほうがいいのかなとは思っていて、ただ、今回提示した数だと多くて抽象的な感じになってしまうのかなと思いますので、少し絞りたいという思いでいます。あとは、政策提言について執行部からの回答をもらう必要があるということは、皆さん思っていることなのかなと。やっぱり提言したあとの検証みたいなものが要だと、これまでの話を聞いて思いました。

○大野祐司委員長 阿蘇委員。

○阿蘇佳一委員 議員を長くやらせていただいている中で、いろいろな提言をこれまで見てきて、実現することは非常に難しいなというのが率直な思いです。その中で、先ほど正・副委員長でまとめていただくことになったので、基本的な部分は任せることでもいいのかなと思います。

○大野祐司委員長 暫時休憩します。

午前11時43分 休憩

午前11時57分 再開

○大野祐司委員長 再開します。

それでは、資料でお示ししました提言については、議会局からの説明にもございましたが、総括的な表現をしたもので、こちらに事業がぶら下がっているという認識は共通

で持っていただきたいと思います。その中で、提言書を作成する際には、より精査して数の問題であるとか、重要度であるとかを勘案した上で、正・副委員長で提言書の素案を作成したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 それでは、そのようにさせていただきたいと思います。

また、政策提言の実効性につきましては、議会運営委員会で協議しているところでもございますので、今後の検討事項としていきたいと思います。

本日の協議の中で、追加したい事項などがございましたら、1月24日・金曜日までに議会局へ提出してください。

最後にその他ですが、委員の皆様から何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 以上で、環境都市常任委員会を閉会いたします。

午前11時59分 閉会

環境都市常任委員会委員長